

第27回 青梅市公共交通協議会

基本計画推進状況について

1. 観光MMについて
2. サイクル&バスライドについて
3. 河辺下地区の取り組みについて

平成30年8月6日

1. 観光MMIについて

- 公共交通を利用して高水山へ行くための情報提供チラシを作製して、以下のところで配布した。

配布場所	配布部数 (配架部数)	実施状況
青梅市ウェブサイト	電子媒体	掲載済
青梅市物産展(杉並区／青梅市交流自治体)	300部	配布済
東京観光情報センター(東京都庁1階)	100部	配布済
東京観光情報センター多摩(立川駅エキュート3階)	100部	配布済
青梅駅前観光案内所	100部	配布済
JR 青梅線主要駅	100部	配布予定
合計	700部	



写真 青梅駅前観光案内所



写真 青梅市物産展(杉並区役所)



写真 東京観光情報センター多摩



バスにのって青梅登山に入門!

たかみずさん

高水山ハイキングコース案内マップ



常福院
高水山の山頂にある寺院です。不動堂には浪切白不動像が祀られています。山門は楓の木が茂り、紅葉シーズンはおすすめです。

常福院 表参道から登るコース



高水山への交通のご案内



行きの交通

JR東青梅駅から徒歩3分、東青梅駅北口バス停より都バス 梅76甲 上成木 行をご利用ください。



東青梅駅北口バス停の時刻表

平日	土曜	休日
07:40	07:49	07:26
10:53	10:39	10:30
17:49	17:59	17:44
19:49	19:44	19:44

東青梅駅北口バス停から乗車 上成木バス停（終点）で下車 上成木バス停から山道へ



バス



徒歩



帰りの交通

お帰りはJR軍畑駅から鉄道をご利用ください。

軍畑駅 時刻表（10～18時まで掲載）



〔平日〕

時	奥多摩行き （下り）	時	青梅行き （上り）
10	26	10	39
11	11 55	11	24
12	40	12	09 54
13	25	13	39
14	11 55	14	24
15	40	15	07 52
16	19 49	16	32
17	22 53	17	18 48

〔土曜・休日〕

時	奥多摩行き （下り）	時	青梅行き （上り）
10	26 59	10	21 54
11	29 59	11	24 54
12	31	12	24 56
13	01 32	13	26 57
14	02 37	14	31 57
15	02 34	15	29
16	00 45	16	11 26 57
17	02 31	17	42

○時刻表は平成30年3月現在のものです。
ダイヤ改正等に変更になる場合がありますので、ご利用の際は、運行会社等へご確認ください。

青梅市公共交通協議会・成木地区公共交通検討委員会
問合せ：青梅市経済スポーツ部まちづくり政策課 0428-22-1111

2. サイクル&バスライドについて

① 今井地区サイクル&バスライドに関するアンケート調査概要

【アンケート実施概要】

対象地域	下図の点線内(地図上では約 600 軒)
配布物	アンケート票、案内チラシ、回収用封筒
配布方法	各戸のポストへ直接投函(ポスティング)
回収方法	郵送回収
アンケート内容	・C&BR 認知状況 ・利用経験 ・利用した(しない)理由 ・C&BR の必要性 ・今後の利用意向 等
スケジュール	平成 29 年 12 月:アンケート準備 平成 30 年 2 月 6 日:アンケート配布 平成 30 年 2 月 6 日~20 日:アンケート回収



「原今井バス停近くの駐輪場」に関するアンケート ご協力をお願いします

日ごろから、市政にご協力いただきありがとうございます。
このたび、原今井バス停近くに駐輪場（サイクル&バスライド）を設置し、バス停まで自転車で行くことができるようになりました。

※サイクル&バスライドとは

自宅からバス停付近の駐車場まで自転車で行き、そこからバスに乗り換える公共交通機関の利用促進策の一つです。

→詳細は同封の「サイクル&バスライド実証実験について」をご覧ください。

本アンケートは、その利用状況や利用者のご意見等を把握し、今後の交通施策の参考とさせていただきます。本調査の趣旨をご理解いただき、なにとぞ協力をお願い申し上げます。

ご記入後のアンケートは、恐れ入りますが 2月20日（火）までに郵便ポストへ投函していただけますようお願いいたします。

- ・ アンケートは同じものが2つ入っています。回答可能な1～2人の方をお願いします。
- ・ ご回答いただいたアンケートは、本目的以外では使用いたしません。

平成30年2月

青梅市 まちづくり経済部 まちづくり推進課

TEL0428-22-1111(内線 2537)

アンケート

1 路線バスを利用していますか。(1つだけ)

- 1)ほぼ毎日 2)週に数回 3)月に数回 4)年に数回 5)利用していない

2 「サイクル&バスライド」のことをご存知でしたか。(1つだけ)

- 1)知っていた 2)知らなかった

3 「サイクル&バスライド」を利用したことがありますか。(1つだけ)

- 1)利用したことがある 2)利用したことがない

4 問3で「利用したことがある」方にうかがいます。

「サイクル&バスライド」を利用した理由は何ですか。(1つだけ)

- 1)バス停まで徒歩では遠いから
2)バス停まで徒歩でも行けるが、自転車の方が楽で速いから
3)自転車まで直接目的地まで行くより、バスに乗った方が楽だから
4)その他→

▶▶裏面へつづく

5

問3で「利用したことがない」方にうかがいます。

「サイクル&バスライド」を利用しない理由は何ですか。(1つだけ)

- 1)知らなかったから
2)バス停まで徒歩で行くから
3)自転車まで直接目的地まで行くから
4)車を利用するから
5)普段バスを利用していないから
6)その他→

6

本地区に「サイクル&バスライド」は必要だと思いますか。(1つだけ)

- 1)今後利用するの必要がある
2)バス停から遠い人のためには必要である
3)必要とは思わない
4)その他→

7

今後、「サイクル&バスライド」を利用したいと思えますか。(1つだけ)

- 1)利用したい 2)改善したら利用する 3)利用しない
↳「2)改善したら利用する」と回答した方にうかがいます。どのようになれば利用すると思えますか。
a)バスの運行本数が増えたら利用したい
b)バスの始発・終バス時間が拡大したら利用したい
c)バスの行き先が増えたら利用したい
d)その他→

8

あなたご自身のことについてうかがいます。

性別	1)男性	2)女性			
年齢	1)10歳未満	2)10歳代	3)20歳代	4)30歳代	5)40歳代
	6)50歳代	7)60歳代	8)70歳代	9)80歳以上	

9

「サイクル&バスライド」に関するご意見・ご要望等がございましたら、自由にご記入ください。また、どのようにバスが運行されれば利用しやすくなるかなど、運行時間帯、運行本数等についてもあればお聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力いただき、大変ありがとうございました。

「サイクル&バスライド」実証実験について

今井地区におきまして、バス停まで遠い地区（公共交通空白地域）から、自転車でバス停へアクセスできるように「サイクル&バスライド」の実証実験を行っています。駐輪場を下記のとおり開設していますのでご利用ください。

【サイクル&バスライドのイメージ】

- ① 自転車バス停付近の駐輪場へ
- ② 自転車を駐輪場の駐輪場へ
- ③ バス停からバスに乗って河辺駅や入間市駅方面へ



原今井バス停からバスに乗ると、河辺駅や入間市駅方面へ行くことができます。また、自転車で直接、河辺駅や入間市駅方面へ行く方も、長い距離を走ったり、坂道を登らなくて済みます。

【駐輪場の開設について】

駐輪場の場所	原今井バス折返し場（下図）
最寄りバス停	原今井・西武バス：河辺駅～入間市駅 ・入間市コミュニティバス：原今井～中神（1/30～）
費用	無料 ※バス運賃は通常通りです
注意事項	駐輪場での盗難や事故等に関しては、利用者の責任において防 止に努めてください。
お問合せ	青梅市まちづくり推進課 0428-22-1111(内線 2537)



西武バス時刻表（平成 29 年 3 月 25 日改正）

河辺駅方面			入間市駅方面		
原今井	河辺駅	西武バス	入間市駅	西武バス	原今井
今井市民センター前	33	57	35	50	41
小橋	7	59	45	40	05
七日市	9	41	25	28	18
橋	11	37	28	30	27
今井	12	29	37	32	27
第三小学校前	14	29	37	32	27
JA 西東京	16	29	37	32	27
野上	18	33	42	36	31
橋台第二住宅	20	10	42	36	31
河辺駅入口	21	01	41	35	20
河辺駅北口	22	20	47	38	04
原今井	6	58	52	29	12
小橋	7	30	14	36	14
七日市	8	06	30	37	14
橋	9	15	16	37	17
今井	10	15	37	37	17
第三小学校前	11	15	37	37	17
JA 西東京	12	10	38	38	17
野上	14	15	42	42	17
橋台第二住宅	15	35	05	46	17
河辺駅北口	16	10	01	46	17
河辺駅入口	17	01	01	46	17
原今井	18	19	04	46	17
小橋	19	07	07	46	17
七日市	20	35	27	46	17
橋	21	45	38	46	17
今井	22	59	51	46	17

【バス利用の例】 立川駅に8時40分に着きたい場合



入間市コミュニティバス時刻表（平成 30 年 1 月 30 日から）

実証運行期間	平成30年1月30日～平成31年1月下旬
運行区間	原今井～中神 ※中神で入間市駅行の始発バス（西武バス）に乗り継げます
運行日時	月曜日～土曜日 7時台～18時台 ※年末年始、日曜日運休
運行本数	10往復
運賃	入間市でいわゆるワンコイン100円（西武バス：中神～入間市駅210円、原今井～入間市駅320円）

原今井	中神	入間市	原今井
07:30	07:57	08:30	09:00
08:30	09:00	09:30	10:00
10:30	10:55	11:30	12:00
12:30	12:55	13:30	14:00
15:30	15:54	16:30	17:00
18:30	18:57	19:30	20:00



② アンケート調査結果

(1)有効回答数

- 配布世帯数 600 世帯で、回収が 145 世帯あったため、回収率は 24.2%だった。
- 1 世帯に 2 票ずつ配布したため、有効回答数は 216 票となっている。

表 回収率

配布世帯数	600
回収世帯数	145
回収率	24.2%

(2)回答者の属性

- 男性、女性ともに5割程度
- 60歳代、70歳代が6割近くを占める

・性別

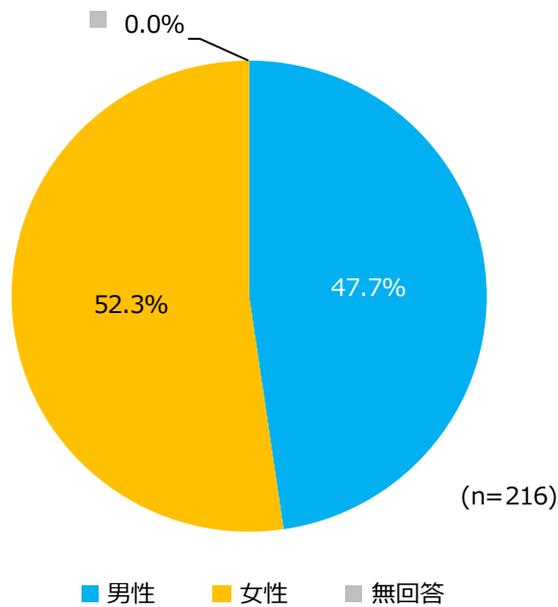


図 性別

・年齢

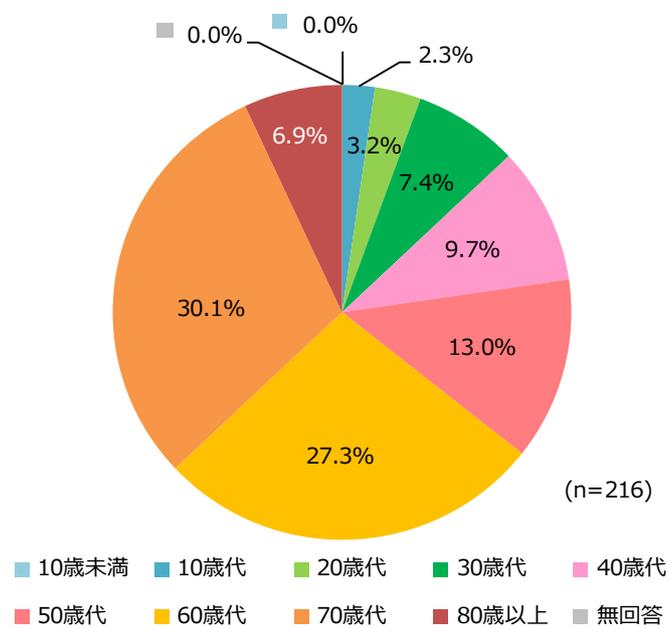


図 年齢

(3) 路線バスの利用状況

- 路線バスを週に数回以上利用している人の割合は8%程度
- 月に数回、年に数回、もしくは利用していないという回答が全体の9割以上を占める

・路線バスを利用していますか。(1つだけ)

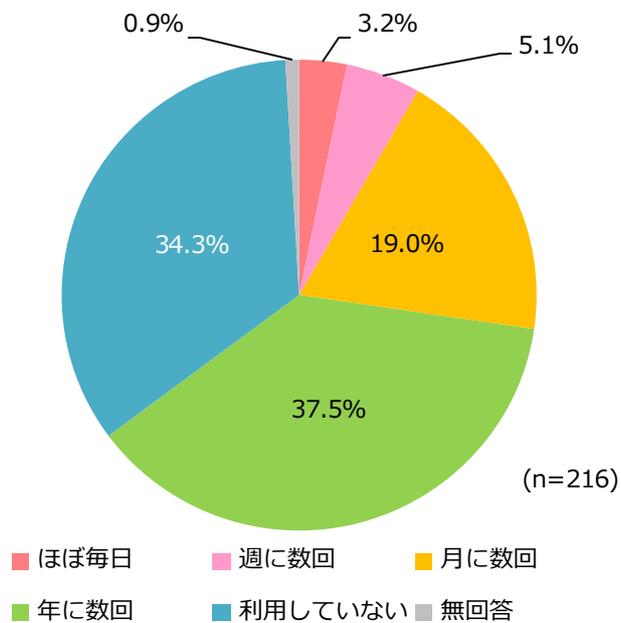


図 路線バスの利用頻度

(4)「サイクル&バスライド」の認知度

- 3割程度の人が、サイクル&バスライドを知っていた

・「サイクル&バスライド」のことをご存知でしたか。(1つだけ)

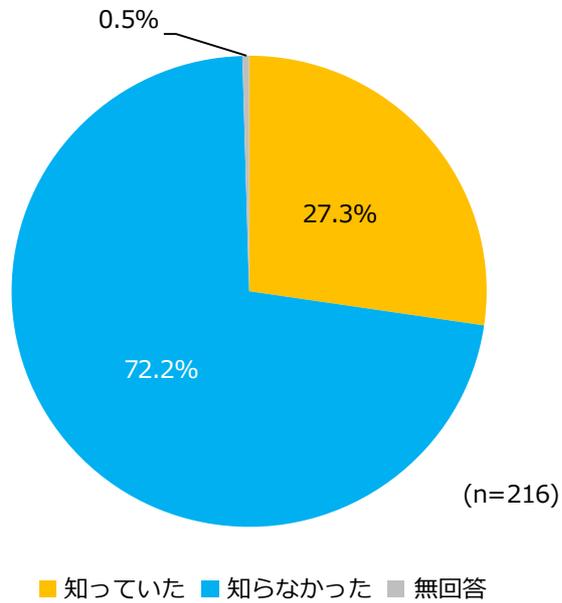


図 「サイクル&バスライド」の認知度

(5)「サイクル&バスライド」の利用状況

- 全体のうち、約4%の人が「利用したことがある」と回答
- 「利用したことがある」と回答した人の年齢は、60歳代が最も多く約半数を占める
- 利用した理由としては、「バス停まで徒歩では遠いから」「バス停まで徒歩でも行けるが、自転車のほうが楽で早いから」が全体の8割近くを占める
- 一方、利用しない理由は、「知らなかった」「バス停まで徒歩で行くから」「車を利用するから」という回答が多くあった

・「サイクル&バスライド」を利用したことがありますか。(1つだけ)

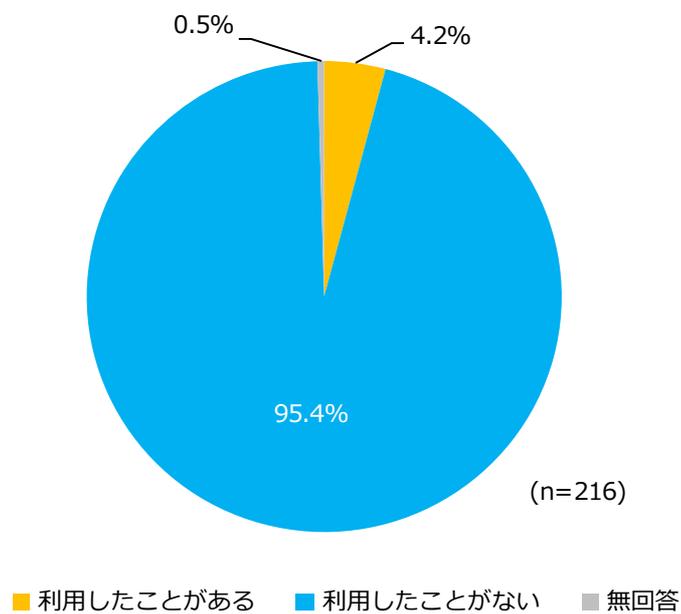


図 「サイクル&バスライド」の利用状況

【追加クロス集計 「サイクル&バスライド」の利用状況×年齢】

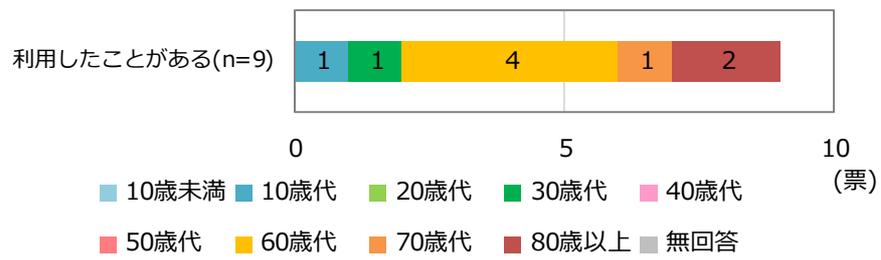


図 「利用したことがある」と回答した人の年齢

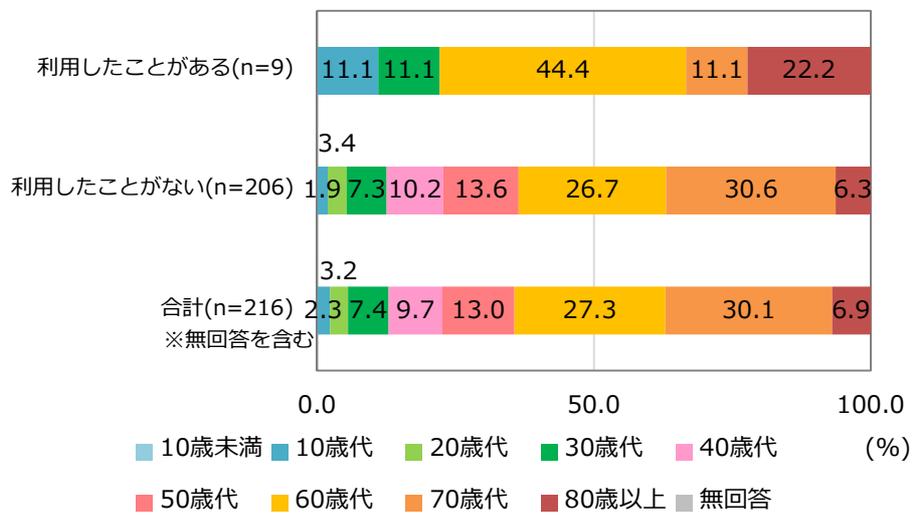


図 「サイクル&バスライド」の利用状況（年齢別割合）

・「サイクル&バスライド」を利用した理由は何ですか。(1つだけ)

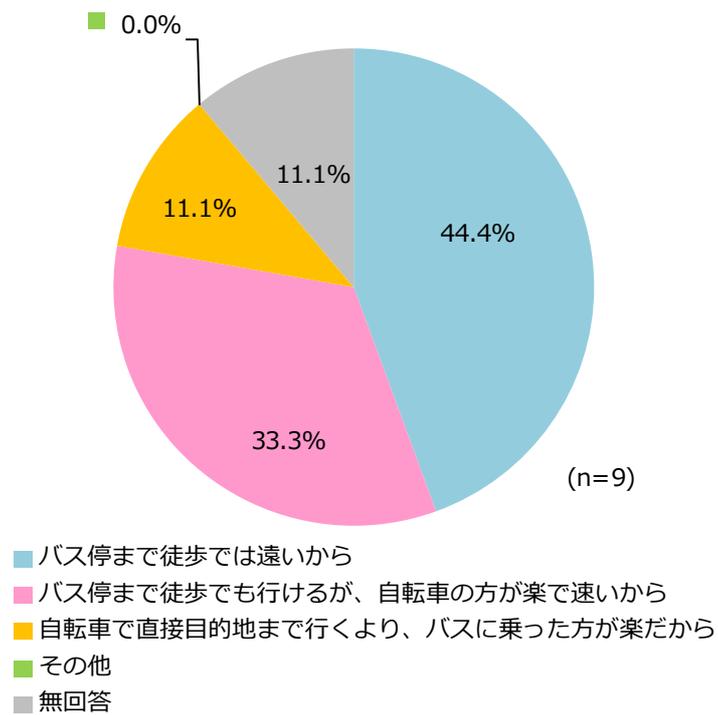


図 「サイクル&バスライド」を利用した理由

・「サイクル&バスライド」を利用しない理由は何ですか。(1つだけ)

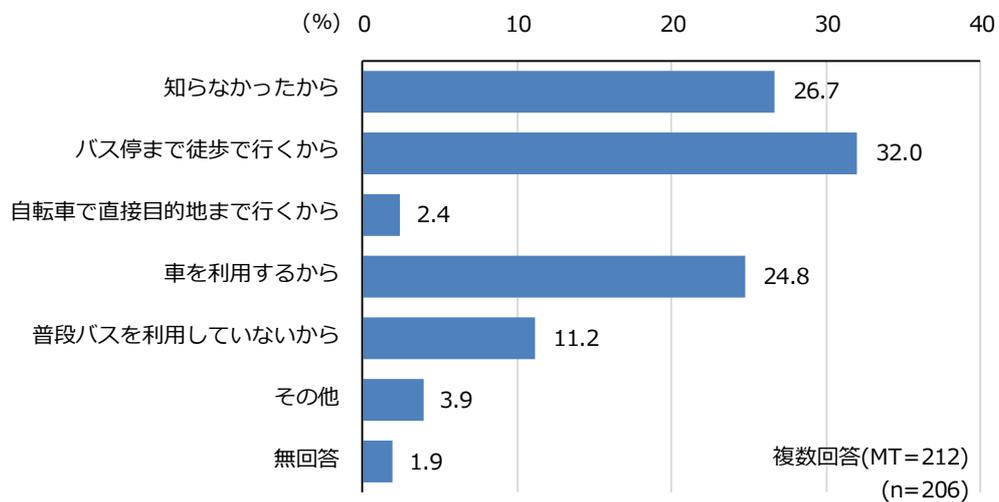


図 「サイクル&バスライド」を利用しない理由

(6)「サイクル&バスライド」の今後について

- 「今後利用するので必要である」「バス停から遠い人のためには必要である」が8割以上を占めるが、約15%のかたは「必要とは思わない」と回答している
- 「今後利用するので必要である」と回答した人の年齢は、70歳代が最も多く約半数を占める
- 利用意向を見ると、「利用したい」「改善したら利用する」が全体の半数以上を占めている
- 利用意向を年齢別に見ると、10～50歳代は「改善したら利用する」、60～70歳代は「利用しない」、80歳代以上は「利用したい」という回答がそれぞれ最も多かった
- また、どのようになれば利用するとの問いに対しては、6割以上の人々が「バスの運行本数が増えたら利用したい」と回答

・本地区に「サイクル&バスライド」は必要だと思いますか。(1つだけ)

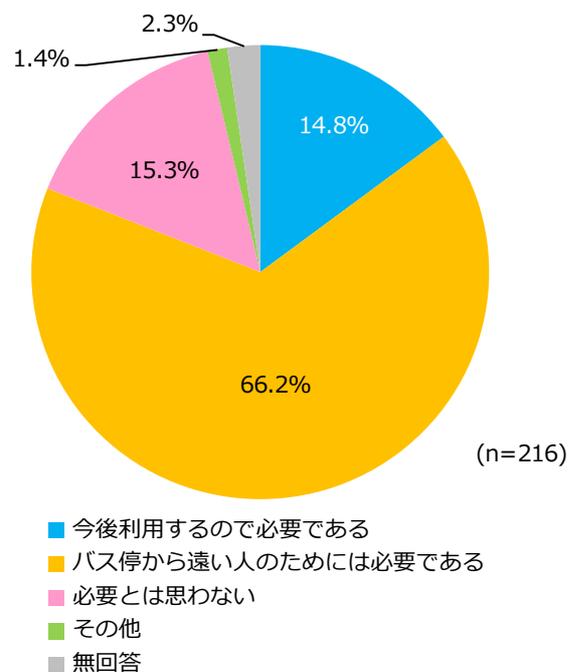


図 「サイクル&バスライド」の必要性

【追加クロス集計 「サイクル&バスライド」の必要性×年齢】

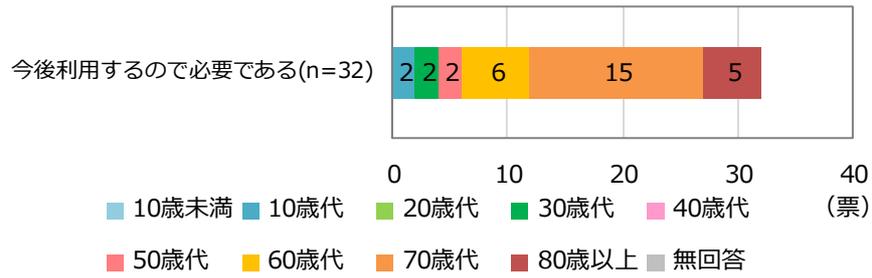


図 「今後利用するので必要である」と回答した人の年齢

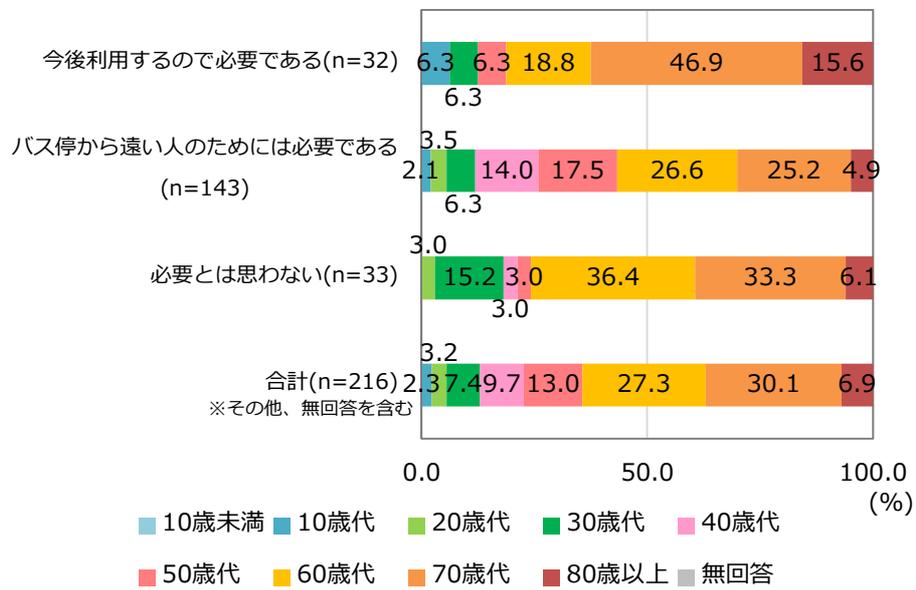


図 「サイクル&バスライド」の必要性（年齢別割合）

・「サイクル&バスライド」を利用したいと思いますか。(1つだけ)

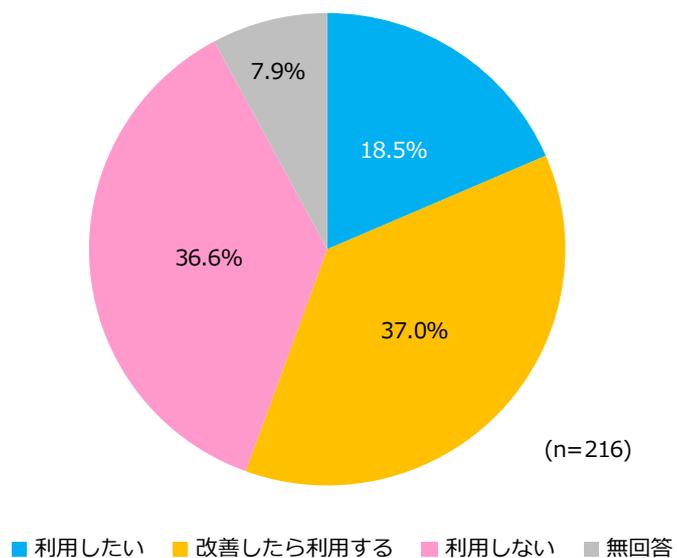


図 「サイクル&バスライド」の利用意向

【追加クロス集計 「サイクル&バスライド」の利用意向×年齢】

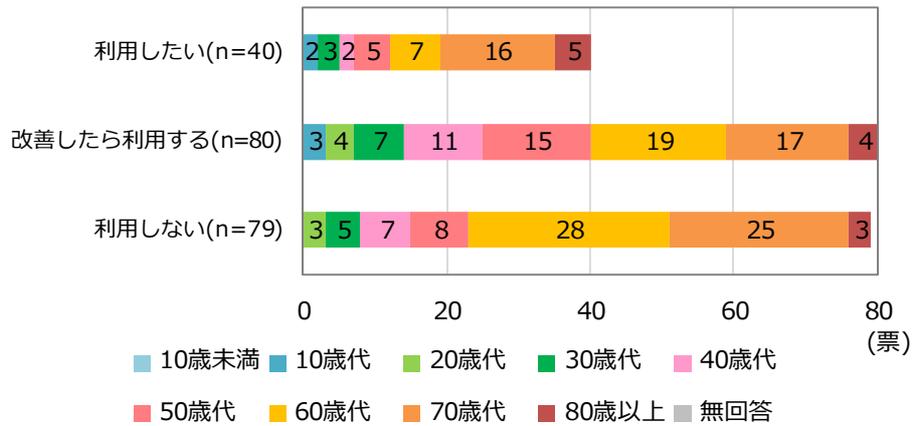


図 「サイクル&バスライド」の利用意向（年齢別）

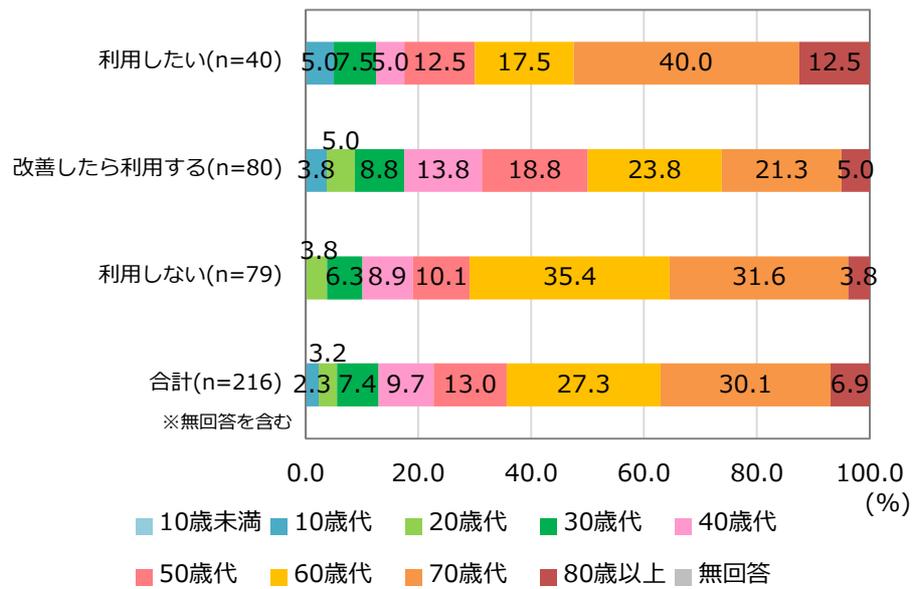
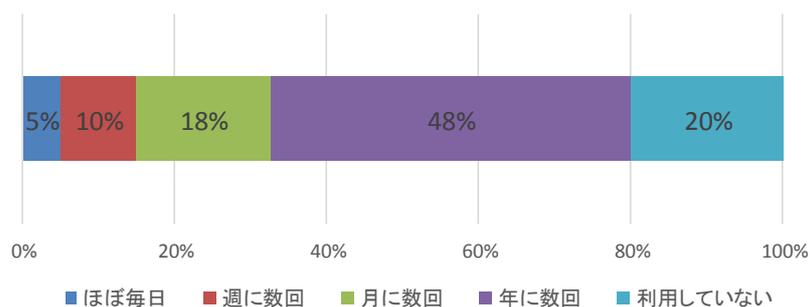


図 「サイクル&バスライド」の利用意向（年齢別割合）

【追加クロス集計 「利用したい」×バス利用頻度】



【追加クロス集計 「利用したい」×自由記入】

男性	50 歳代	河辺駅→原今井行きを終バスが 22:00 頃まであれば助かるので使えると思います。
女性	70 歳代	多い程市民は助かると思います。今井市民センター、図書館前にバス停がありますが敷地が広いので折り返し場ではありませんが「サイクル&バスライド」に順じバスに乗り降りする人の為の駐輪場を施行して頂けないかと考えています。
女性	70 歳代	今井 1 丁目にも欲しいです。
男性	70 歳代	高齢社会がますます進行する中で免許証の返上も増えると思います。また、バス会社の経営維持にも役立つと思います。サイクル運動を安全に推進するうえでも非常に大事な事業と考えます。ぜひ推進して下さい。
女性	30 歳代	バスの本数が増えたらもっと利用したいと思います。
女性	70 歳代	高齢になるにつれバス利用しか交通手段がなくなります。朝8時から夕方5時の時間帯 増便して欲しいと思います。
女性	10 歳代	自転車を駐輪できるのは、荷物が多かったりするので助かります。バスの運行本数は少ないと感じますが、本数を増やすより始発、終バス時間を拡大してほしいです。朝は5時台、夜は 10 時、11 時があるともっと利用できます。
男性	60 歳代	車なしの生活が困難な地域で、免許を返してしまうと、この様なサービスは大切です。
女性	60 歳代	バス運行本数も含め、充実させてください。
男性	80 歳代	週2~3回利用しているので、バスの運行本数が多くなればよい(通勤に利用しているので朝と夕刻の時間帯)の本数。
男性	30 歳代	普段、自転車を利用しているので、サイクル&バスライドには賛成です。実証実験の結果の報告があるとありがたいです。

・どのようになれば利用したいと思いますか。

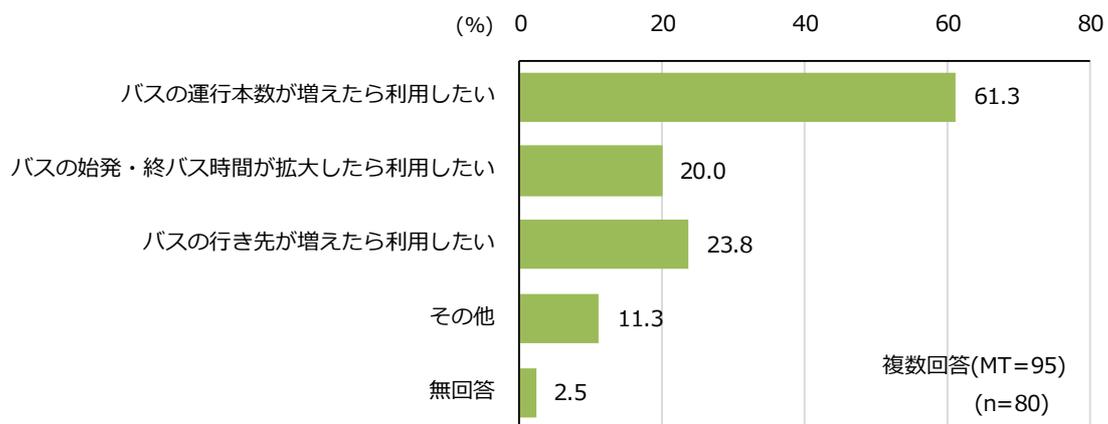


図 「サイクル&バスライド」の改善について

③ サイクル&バスライドの今後の課題と今後の方向性

(1) 周知の方法の改善

- 今回のアンケートにおいて、約7割の人が、サイクル&バスライドを実施していることを「知らなかった」と回答しており、サイクル&バスライドを開始した際には、市報や回覧板で広報活動を実施したものの、十分周知ができていなかったことがわかった。
- 中でも、10～20歳代で利用しない理由が「知らなかった」と回答している方が多い状況にあり、周知方法の改善が必要である。

(2) 駐輪場の設置場所への配慮

- 現在の駐輪場は周辺に施設がなく、今井市民センターに設置する希望がみられた。また、小作駅方面への路線の利用希望がみられた。

(3) バスサービス改善に向けた取り組みの実施

- 今回のアンケートにおいて、「バスの運行本数が増えたら利用したい」「バスの行き先が増えたら利用したい」「バスの始発・終バス時間が拡大したら利用したい」という回答が多くあった。
- 自由意見においても、バスの運行本数に関する意見、運行ルートに関する意見、運行時間に関する意見が多くみられた。
- また、10歳～50歳代で、「改善したら利用したい」という方が多く、バスサービスの改善をすることで、通勤や通学時の利用が増加する可能性もある。



- 今回のアンケート配布(各戸に配布)を通じて、地域住民に広報することができたため利用が増える可能性があり、またサービスの継続も望まれていることから、今井地区においては今後もサイクル&バスライドを継続していく。
- 今後、別の地区でサイクル&バスライドを検討する場合は、今回の結果を踏まえ、実施前に効果的に広報活動を展開することが重要である。
- また、駐輪場の設置場所は、近くに市民センター等の施設(バス待ちができるような施設)があるような場所や、多方面へのバス路線の利用が可能なバス停での設置に留意する必要がある。
- サイクル&バスライドの提供と合わせて、バスサービスの改善(始発、終バスの時間の延長や運行頻度、行先等)についても、合わせて展開していくことが望まれる。

3. 河辺下地区の取り組みについて

公共交通空白地域に対する取り組みの参考とするため、近隣地域の取り組みについてヒアリング調査を行った。

武蔵村山市／乗合タクシー「むらタク」

(1) 市内公共交通の概要

- 市内の公共交通は、路線バス、コミュニティバス、乗合タクシーがあり、以下のような役割分担となっている。
- 公共交通は概ね市内全域をカバーしている。なお、一部地域は、道路の幅員による制限等のため、公共交通空白・不便地域となっている。

路線バス [立川バス他]	● 市内に鉄道駅がないため、市外の交通結節点である立川駅、昭島駅、箱根ヶ崎駅方面に、幹線路線として運行
コミュニティバス [MM シャトル]	● 路線バスがカバーしきれないエリアについて、路線バスを補完する役割を担う。
乗合タクシー [むらタク]	● 市南西地域の居住者を対象に、自宅～市内主要施設間の移動のみを担う。(当該地域では市外への路線バスは運行されているため、市内の移動のみ)

乗合タクシー「むらタク」乗降場所一覧



(2)乗合タクシー[むらタク]について

- 従前、当該地域でもコミュニティバスを運行していたものの、利用者数や収支率が他の地域と比べて著しく低いことから、他の交通システムを検討した結果、コミュニティバスをやめてデマンド型乗合タクシーを導入することとなった。
- 市の財政負担は、コミュニティバスの時より減っている。
- 利用者数は口コミで増えている。(登録者数 H25:464→H29:739 名、利用者数 H25:2,190 →H29:4,680 名、対象地区の人口は約 9 千人)
- 登録者数の目標を、運行当初 500 名とおいていたが、収支率等については数値目標や運行条件は定めていない。
- 1日平均利用者数は約 16 人、1回当たり多い時で 5~6 人の乗車となるが、乗り切れなくなることは発生していない。
- 運行経費(委託費)は 800 万円弱、運賃収入は1割程度。
- 運賃設定は、固定路線であるコミュニティバス 170 円と、自由に移動できる一般タクシー 700 円の間程度として 300 円とした。



あきる野市／盆堀地区地域交通事業

(1) 市内公共交通の概要

- 市内の公共交通は、JR 五日市線、路線バス(西東京バス)、コミュニティバス(るのバス)、盆堀地区地域交通事業で構成されている。
- 市内には5箇所の公共交通空白地域があるが、このうちの1箇所である盆堀地区で、小学校の統廃合により児童のバス通学が必要となったこともあり、市民の発意による市と市民の協働事業として、平成 25 年 4 月から住民主体の地域交通事業が実施されている。



(2) 盆堀地区地域交通事業について

- 盆堀地区(約 30 世帯、100 人)と戸倉バス停(最寄りの路線バス)を結ぶ、定時定路線を運行している。(月～金のみ運行、土日祝日は運休、運賃無料)
- 市と盆堀地区で協定を締結し、運転者は地域住民の有志が担っている。(60 歳代が中心、市の非常勤職員として雇用、6人登録、時給 986 円、1日3往復 9:10/12:20/15:50、1往復9Km45 分)
- 当初は9人登録・6往復であったが、運転者の高齢化や小学生の卒業により、現在は6人登録・3往復となった。
- 車両は7人乗りワゴン車を市がリース契約(2年、メンテ・保険料込)している。(リース料、燃料費、人件費を市が負担、年間合計約 120 万円)
- 平成 29 年度利用状況は、1日平均 1.3 人(年間延べ 310 人利用、241 日運行)。
- 運行時刻や運転担当者は、地域で相談して運行計画を決めて、利用者数等は日報を提出してもらっている。
- 今後の継続に向けて、運転者の高齢化に伴う確保が課題となっている。

運行している車両



盆堀自治会館バス停(起点)

